

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ラスト・インベダー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ラスト・インベダー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：レッド・レンジャー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

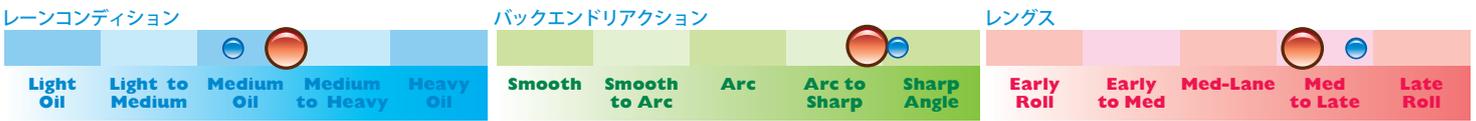
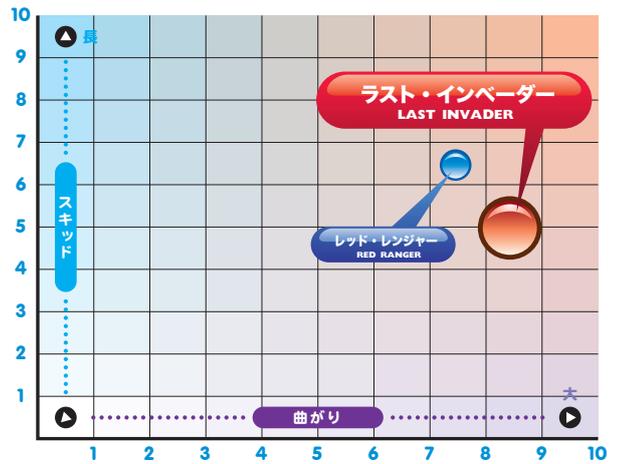
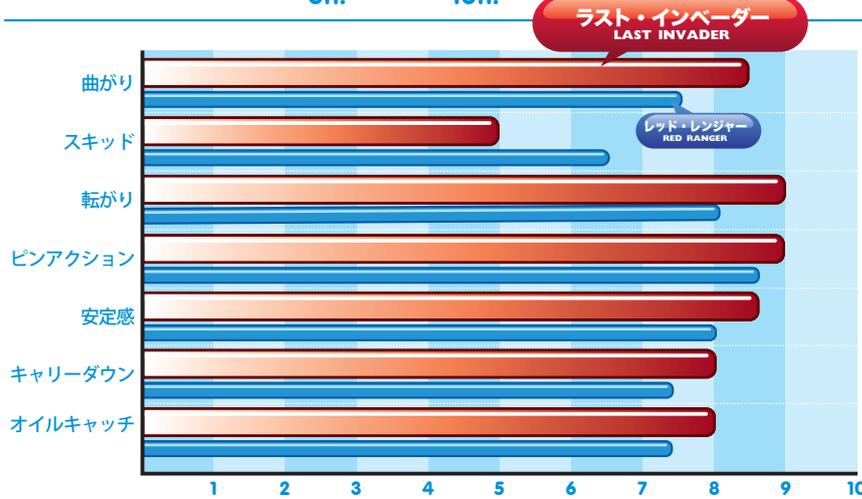
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2012年から始まったインベダーシリーズは2016年10月のインベダーネオで完結しました。実質∞(インフィニティ)2.50コアでの最終シリーズはリミテッドインベダーですので、このLAST INVADERではほぼ3年ぶりの初代から受け継ぐインベダーと言えるでしょう。現在Pro-amはカバーストックの特性を活かし、高いスキッド力の中に反応の良いキレるリアクションをコンセプトにコストパフォーマンスの優れたRANGERシリーズを発売してきました。しかし多くのユーザーから世界的に置かれている現状とそこにはない特異性を求める声も多く、個数限定で特別なインベダーを今回発売することになりました。

スペックは初代INVADER MULTIと同様でカバーストックも∞(インフィニティ)2.50コアも同じです。

配色はPlatinum/Black/Purpleを選択しました。

実際にRANGERのカバーストック領域と投げ比べると、スキッドにおける安定感やキャッチレベル、バックエンドの反応からピンキャリーまですべてにおいてあからさまにレベルの違いを感じられるのが印象的です。少しオイルを使いながら戻せるコアの強さ、それに見合うカバーのキャッチ力、「これぞPro-amのボール」と言えるだけの性能が出ていると実感できます。しかも2012年の当時の印象が色褪せることなく現代においてもしっかりと一(いち)パフォーマンスとして表すことができるのがINVADERの特筆すべき点でしょう。これよりもっとキャッチするボール、スキッドするボールは数多く発売されていますが、「なぜインベダーでなければならないか?」は、実際に投げるか誰かが投げているのを見れば良さは分かるでしょう。久々にお目見えしたINVADERのラストを飾るべく、Pro-amのボールに恥じないパフォーマンスを魅せてくれるでしょう。

特記事項

初代INVADERと同じスペックですが、Platinum/Black/Purpleの配色もあり、走りとおの動きがやや強く出ています。ミディアムコンディションを中心にまずはINVADERで勝負です。